

新しい政治の流れをさらにすすめて 庶民の代表を参議院に

昨年の総選挙で自公政権を退場させたことは、日本政治にとって前向きな大きな一歩で、新しい歴史を開くものです。同時に、新政権の「政治とカネ」をめぐる問題などへの批判の声は、政治を前向きに動かす力になっています。

しかし、日本政治にはあまりに異常な「アメリカ言いなり」と「大企業・財界の身勝手な横暴」から抜け出すまでには至っていません。日本共産党は、政治をさらに前にすすめる「建設的野党」としてがんばります。



比比例代表 党書記長



大阪選挙区 大阪市議員

市田忠義 清水ただし

参議院選挙 制度解説

- 1回目 大阪選挙区は候補者名で
- 2回目 比例代表は政党名で
(個人名でも投票できます)
- 日本共産党へのご支援は全て議席に結びつきます

こんなときだからこそ、市民に あたたかい政治を



今年も 国保料の値上げストップを (国民健康保険料)



後期高齢者医療で国保会計が一気に赤字に
加入者にも市にも責任はありません

後期高齢者医療制度の影響で、黒字だった国保会計が一気に赤字になりました(2007年度約2億5000万円黒字が2008年度約17億3000万円赤字に)。国が65歳から74歳の障害者の医療給付の仕組みを変えたことが大きな原因で、加入者にも市にも責任はありません。

国保だけでなく、健保組合や協会けんぽ(旧政管健保)にも大きな影響を与えており国の責任が問われます。同時に、高槻市が国保料の値上げストップにがんばることが求められます。

日本共産党高槻市会議員団

 **大川はじめ**
☎681-3082

 **中村れい子**
☎685-6686

 **かつ原和久**
☎692-0400

 **宮本雄一郎**
☎695-1900

 **きよた純子**
☎676-5068

どの子もすこやかに 伸びるために 35人学級の拡充

市教育委員会は小中一貫教育をすすめるために、今年4月から第四中学区(四中・富田小・赤大路小)をモデル校とし、市内全域に広げようとしています。

「学力向上」などを理由に、次々と新たな取り組みがされています。しか

し、「学力向上」というのなら、少人数学級の拡充こそ必要です。高槻市では小学1・2年生の35人以下学級に加え、小学校の3年生以上で少人数授業をおこなっています。当面、中学でも1年生から35人学級を実施することが求められます。



市立第一中学校(城内町)

自然や歴史を大切に、農林業の振興

市民アンケートの「高槻の森林に対するイメージ」では、「貴重なみどりの資源」と84%が回答しています。高槻市の46%は山林で、山の手入れをし、生かすことが大切です。間伐材の利用をもっと広げ、木材を学校など公共事業に利用することも必要です。

また、高槻には、弥生時代の安満遺跡、古墳時代の今城塚古墳、闘鶏(つげ)山古墳などがあり、ボランティアの方も多く活躍されています。各施設を周遊するバスコースをつくるなど気軽に見学できる努力が求められます。



▲史跡新池ハニワ工場公園(上土室一丁目)
▲高槻に多く残る農地(塚脇・西之川原地域)

